

令和6年度京都府地域プログラム（南丹）

展覧会

K Y O T O S a n G o d a s h i o

京都山河抄

（京都丹波の光景）

会期 | 2024年10月12日(土)～11月10日(日)

10:00～16:00 / 火・水・木曜日 休館【入場無料】

会場 | 美山かやぶき美術館 〒601-0751 京都府南丹市美山町島朴ノ木21

出品作家 | ヤマガミ ユキヒロ (現代美術家)

作家在廊日 | 10月13日(日)、10月26日(土)、11月9日(土)

主催 | 京都:Re-Search実行委員会 (京都府、南丹市 他)

共催 | 美山かやぶき美術館

協力 | 美山町宮島振興会、櫻原田楽保存会、世木の伝統芸能を守る会



令和6年度文化庁
文化芸術創造拠点形成事業





展覧会 京都山河抄 ～京都丹波の光景～について

丹波猿楽などにゆかりが深い南丹地域。

その伝統芸能を育んだ地域性に着目して、ヤマガミユキヒロは今年5月から約6ヶ月間、美山や日吉各所のリサーチを重ねてきました。

南丹地域特有の風景やその背景にある過去から現在につながる時の流れ。それらを肌で感じながら、ヤマガミ独自の「キャンパス・プロジェクト」によって新たな作品が制作されました。

本展では、ヤマガミがリサーチで訪れた各所のスケッチから本プログラムの足どりをたどるとともに、映像作品や「キャンパス・プロジェクト」による新作を披露します。

また、7月のワークショップ参加者のぬりえ作品をヤマガミとの共同制作として紹介します。

この地域の山々の稜線、豊かな川の流れがつくりだす美しい光景に特に魅了されたヤマガミの目線や表現から、京都丹波の新たな魅力を感じていただければ幸いです。

出品作家 ヤマガミ ユキヒロ (現代美術家)

大阪芸術大学建築学部中退。京都精華大学美術学部洋画コース卒業。日常で見慣れた風景を鉛筆などで描画した絵画に、同一視点から撮影した映像をプロジェクターによって投影する「キャンパス・プロジェクト」という絵画に光と時間を取り入れる独自の手法により作品を制作。これまで、東京駅復原工事完成記念展(東京ステーションギャラリー)をはじめ、アサヒビール大山崎山荘美術館、21_21 DESIGN SIGHT、藝倉美術館【上海】、ビクトリア国立美術館【オーストラリア】など国内外での展覧会に参加。第11回岡本太郎現代芸術賞 特別賞受賞。Mio Photo Award 2000 優秀賞受賞。



公式WEBサイト www.yamagamiyukihiro.net / Instagram @yamagamiyukihiro



リサーチ・制作スポット

○川上神社 (大原神社摂社)

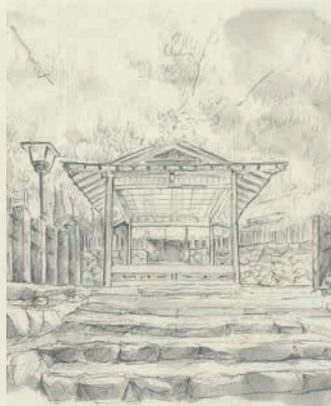
毎年、スポーツの日に五穀豊穡・家内安全を祈願し“からす田楽”が奉納される。(2024年は10/14開催)
〒601-0777 京都府南丹市美山町榎原大原谷 107
〈問合せ〉美山町大野振興会 TEL 0771-75-9110

○石田家住宅

日本最古の農家型住宅。国の重要文化財。見学無料。
〒601-0777 京都府南丹市美山町榎原
〈一般開放〉4月～11月 土日祝 10:00～16:00
〈問合せ〉美山町大野振興会 TEL 0771-75-9110

○丹波梅若の道

南丹市日吉町殿田が発祥の地である丹波猿楽の名家 梅若家の屋敷跡や菩提寺、旧墓所などがある。



○アーティストトーク 無料 申込不要

10/13 (日)、26 (土) 14:00～

約6ヶ月にわたるリサーチと制作から、ヤマガミがとらえた南丹地域や作品について語ります。(各回20分程度)

○座談会 無料 要申込 定員30名 先着順

11/9 (土) 14:00～15:30

美山や日吉で地域の伝統文化の継承・振興に励む方々が、地域で受け継がれるものをいかに繋いでいくのか、“地域のこれから”をヤマガミと語り合います。

登壇者 ヤマガミユキヒロ
青田 真樹 (美山町宮島振興会・美山かやぶき美術館)
山口 恒一 (榎原田楽保存会 代表)
井尻 治 (梅若家屋敷跡保存会 会長)

電話または下記申込フォームからお申し込みください



申込フォーム

【お問い合わせ】

京都:Re-Search 実行委員会
(京都府南丹広域振興局 企画・連携推進課内)
TEL 0771-24-8430
(平日 9:00～12:00、13:00～17:00)
MAIL n-c-kikaku@pref.kyoto.lg.jp

本プロジェクト、関連イベントの詳細などは、WEBサイト「KYOTOHOOP」をご覧ください



美山かやぶき美術館 無料駐車場あり (30台)



築150年のかやぶき民家を再活用した美術館。郷土資料館も併設。
展覧会開催日に限り、併設の郷土資料館を特別開放します(入場無料)。
美山地域の暮らしの道具などをご覧ください。※通常、見学は要申込・有料